

心と言葉のグローバル日英作文
〈総合演習〉

サンプル版

成瀬由紀雄

【世界】

[1]

前史時代の人類は小さな家族単位で暮らしていたが、その後、その中での分業化を図るようになった。

1. 前史時代の人類は小さな家族単位で暮らしていた。
2. その後、人類は家族の中での分業化を図るようになった。

[2]

男は主に狩猟を受け持ち、女は火の扱いと育児を受け持った。

1. 男は主に狩猟を受け持った。
2. 女は火の扱いと育児を受け持った。

[3]

人類が最初に身につけた技能は石や木や骨を加工してさまざまな道具をつくることだった。

1. 人類が最初の技能を身につけた（発展させた）。
2. 彼らは石や木や骨を加工した。
3. 彼らはさまざまな道具をつくった。

[4]

だが前史時代の人類にとっての画期的な出来事はなんといっても音と意味を組み合わせる言語を作りだしたことにある。

1. だが前史時代の人類にとっての画期的な出来事は言語の創造だった。
2. 言語は音と意味の組み合わせである。

[5]

言葉を得たことで人類は思考や感情をお互いに伝え合うことができるようになっただけでなく日常の暮らしでの情報も共有できるようになった。

1. 言葉を得たことで人類は思考や感情をお互いに伝え合うことができるようになった。
2. 人類は日常の暮らしでの情報を共有できるようになった。

[6]

前史時代の人類がどのような世界観を持っていたかは、洞窟絵画、彫像、埋葬品などの石器時代の作品から見てとることができる。

1. 前史時代の人類がどのように世界を理解していたのか。
2. それは洞窟絵画、彫像、埋葬品などの石器時代の作品から見てとることができる。

[7]

その作品からみて、石器時代の人々は自分のまわりの世界を単なる生活空間として捉えるだけではなく、なにか宗教的かつ神秘的な観点からも捉えていたことが分かる。

1. その作品から次のことが分かる
2. 石器時代の人々は自分のまわりの世界を生活空間として捉えた。
3. 彼らは自分のまわりの世界をなにか宗教的かつ神秘的な観点からも捉えていた

[8]

紀元前 8000 年頃に始まる新石器時代になると、一部の人々は、狩猟採集生活を捨てて定住による農耕牧畜生活を始めた。

1. 新石器時代が紀元前 8000 年頃に始まった。
2. 一部の人々は、狩猟生活を捨てた。
3. 彼らは一か所に定住した
4. 農耕牧畜生活を行った。

[9]

この新しい生活様式によって土地の保有と余剰食糧の蓄積という新たな事態が生じ、それが社会階層の更なる分化を生み出すことになった。

1. この新しい生活様式によって土地の保有と余剰食糧の蓄積という新たな事態が生じた。
2. それが社会階層の更なる分化を生み出した。

[10]

農耕を選んだ人々は貯蔵した食料を守るために高い土地に住むようになり、その後はその土地のまわりを壁で囲むようになった。

1. 農耕を選んだ人々は遊牧民から貯蔵した食料を守る必要があった。
2. 彼らは高い土地に住むようになった。
3. その後は土地のまわりを壁で囲むようになった。

[11]

中東のエジプトおよびアラビア半島東部からパレスチナを経てメソポタミアに至る「肥沃の三角地帯」と呼ばれる地域では、数多くの古代文明が栄えた。

1. 人類の最初文明のひとつは中東地域で生まれた。
2. 中東に「肥沃の三角地帯」と呼ばれる地域がある。
3. それはエジプトおよびアラビア半島東部からパレスチナを経てメソポタミアに至る地域である。
4. この地域で、いくつもの人類最初の文明が栄えた。

[12]

この時期にはインド亜大陸や中国でも中東地域と同様に高度な文明が誕生し発展した。

1. この時期にはインド亜大陸や中国でも文明が誕生し発展した。
2. その高度さは、中東地域と同様だった。

[13]

紀元前 2500 年から 4 世紀にかけて隆盛を極めた古代ギリシャ・ローマ文明は、現在の西欧文明の源流として哲学や文学の原点となっているだけでなく、なに

よりも政治のあり方の礎となっている。

1. 古代ギリシャ・ローマ文明は、紀元前 2500 年から 4 世紀にかけて隆盛を極めた。
2. 同文明は、現在の哲学や文学など西欧文明の原点となっている。
3. また同文明は、なによりも政治体制の礎となっている。

[14]

地中海から欧州北西部の地域を支配したローマ帝国は、4 世紀に始まるゲルマン民族大移動の時期まで生き残った。

1. ローマ帝国は地中海から欧州北西部の地域を統合化した。
2. 4 世紀に始まるゲルマン民族大移動の時期まで生き残った。

[15]

古代末の民族大移動に伴う混乱によってローマ帝国の支配力は大きく損なわれ、その結果としてヨーロッパの政治体制は大きく乱れた。

1. 古代末の民族大移動に伴う混乱が生じた。
2. ローマ帝国の支配力は大きく損なわれた。
3. その結果としてヨーロッパの政治体制は大きく乱れた

[16]

ヨーロッパでローマ帝国に代わって台頭してきたのはドイツ王国だったが、ローマ文明、特にキリスト教についてはその影響力を保ち続け、中世前期時代の精神世界の支柱としての力を拡大していった。

1. ドイツ王国がヨーロッパでローマ帝国に代わって台頭してきた。
2. ローマ文明、特にキリスト教については精神的支柱としてその影響力を保ち続けた。

[17]

ヨーロッパでキリスト教が勢力を拡大している 7 世紀に、アラビアでは預言者モハメッドがイスラム教を確立し、

その政治的・軍事的勢力を拡大していた。

1. 7世紀にヨーロッパではキリスト教が勢力を拡大していた。
2. アラビアでは預言者モハメッドがイスラム教を確立した。
3. イスラム教はその政治的・軍事的勢力を拡大していた。

[18]

ほどなくイスラム帝国は、コルドバ、カイロ、バグダッド、サマルカンドといった大都市を中心に、西はイベリア半島やマグリブ地域から東はインドや中央アジアにまでその勢力を拡大した。

1. ほどなくイスラム帝国は、西はイベリア半島やマグリブ地域から東はインドや中央アジアにまでその勢力を拡大した。
2. その基点となったのはコルドバ、カイロ、バグダッド、サマルカンドといった大都市であった。

[19]

ヨーロッパにおいて中世から近代へ時代の転換は、宗教改革と「新世界」の発見という2つの大きな歴史的イベントによってヨーロッパの人々の人間と世界に対する見方が根本的に変化してことから、比較的スムーズに進んだ。

1. ヨーロッパにおいて中世から近代へ時代の転換は、比較的スムーズに進んだ。
2. その前に、宗教改革と「新世界」の発見という2つの大きな歴史的イベントをヨーロッパは体験した。
3. それらを通じて、ヨーロッパの人々の人間と世界に対する見方が、根本的に変化していた。

[20]

イタリアから広まった人文主義もまた、キリスト教と教会に対する批判的精神を人々のあいだに育むことで、近代の扉を開けることに貢献した。

1. イタリアから人文主義が広まった。
2. それがキリスト教と教会に対する批判的精神を人々のあいだに育んだ。
3. このことが、近代の扉を開けることに貢献した。

[21]

ドイツ国内のプロテスタントとカトリックの対立として 1618-48 年に始まった三十年戦争によってヨーロッパでは帝国の時代が終わって国民国家の時代が始まり、それがヨーロッパを超えての領土拡張や経済権益の拡大を求める動きへとつながっていった。

1. ドイツ国内のプロテスタントとカトリックが対立した。
2. それが 1618-48 年の三十年戦争を引き起こした。
3. これがヨーロッパでの帝国の時代の終わりを意味した。
4. そして国民国家の時代が始まった。
5. それがヨーロッパを超えての領土拡張や経済権益の拡大を求める動きへとつながっていった。

[22]

ヨーロッパでは 18 世紀末から革命的な動きによる権力構造と統治構造の転換が始まった。1787 年にはパリで「自由、平等、博愛」の旗印のもとにフランス革命が勃発し、社会変革の流れは止まらないものとなった。

1. ヨーロッパでは 18 世紀末から革命的な動きが起こった。
2. これが権力構造と統治構造の転換につながった。
3. 1787 年にはパリで「自由、平等、博愛」の旗印のもとにフランス革命が勃発した。
4. 社会変革の流れは止まらないものとなった。

このつづきは

「ことさきくグローバル日英文章・翻訳教室」のオリジナル版にて